

高知県感染症発生動向調査（週報）

2025年 第47週 (11月17日～11月23日)

★県内での感染症発生状況

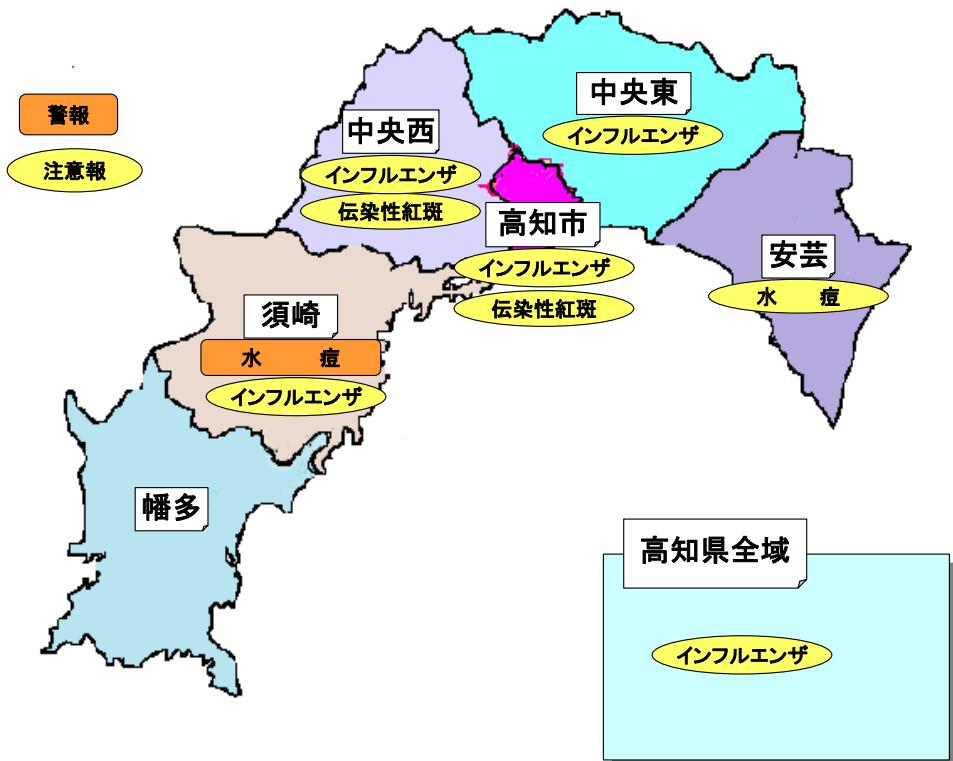
急性呼吸器感染症及び小児科定点把握感染症（上位5疾患）

疾病名	推移	定点当たり 報告数	保健所管内別の傾向
インフルエンザ	↑	13.21	中央東、幡多、安芸で急増、高知市、須崎、中央西で増加しています。
新型コロナウイルス感染症	↑	2.68	須崎、幡多で増加していますが、中央東、中央西、高知市、安芸で減少しています。
感染性胃腸炎	↑	1.95	幡多、須崎で急増していますが、安芸で急減、高知市、中央西で減少しています。
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	→	1.85	中央西で急増、中央東で増加しています。
伝染性紅斑	↑	0.75	幡多、安芸で急減、須崎、中央東で減少しています。

<推移の基準>

急増	↑	前週と比較し、2倍以上の場合	減少	↓	前週と比較し、0.5倍以上～0.8倍未満の場合
増加	↑	前週と比較し、1.2倍以上～2倍未満の場合	急減	↓	前週と比較し、0.5倍未満の場合
横ばい	→	前週と比較し、0.8倍以上～1.2倍未満の場合			

★地域別警報・注意報状況



★週報の発行日

週報は、毎週「木曜日」の午後3時30分以降に発行します。

ただし、「火曜日」「水曜日」「木曜日」が祝日の場合は、「金曜日」になります。

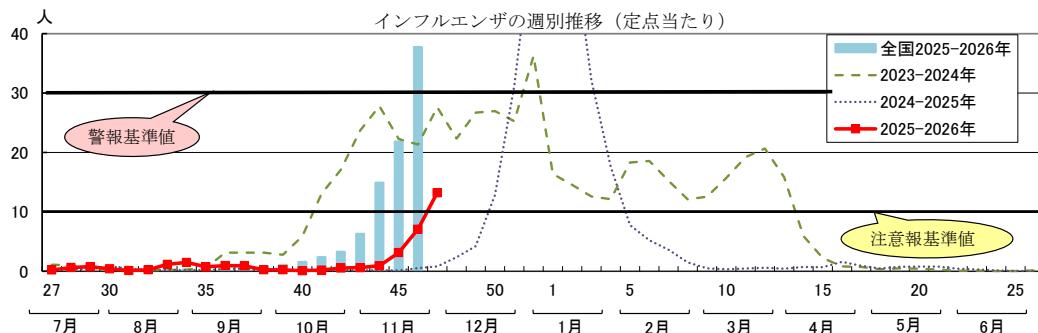
★気になる感染症

インフルエンザ

高知県の定点当たりの報告数は、第40週以降7週連続で増加しており、学校等では集団発生による休校、学年閉鎖、学級閉鎖が報告されています。外出後の手洗いなどの感染予防、症状がある方は、咳エチケットを心がけ、早めに医療機関を受診しましょう。いったん流行が始まると、短期間に多くの人が感染が拡大します。保育園や幼稚園、学校や社会福祉施設など集団生活の場では特に注意してください。

県内のインフルエンザ定点医療機関での迅速診断では、インフルエンザA型が295件(80.2%)、インフルエンザB型が73件(19.8%)と2種類報告されています。

全国では、原因ウイルスとして、第43週～第47週はAH3が最も多く93.9%(185件)、次いでAH1pdm09、B(ビクトリア系統)がそれぞれ3.0%(6件)の順で検出されています。



学校等における集団発生

※学校等欠席者・感染症情報システム

保健所		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計
休校	第47週	—	1	—	—	—	—	1
	累計	—	1	—	—	—	—	1
学年閉鎖	第47週	—	—	4	1	2	1	7
	累計	—	—	6	1	2	1	11
学級閉鎖	第47週	—	—	4	—	—	1	5
	累計	—	—	12	2	1	2	17

●インフルエンザ予防接種

インフルエンザは、その年により流行の程度に差がありますが、例年11月頃から患者が増え始め、12月から3月頃にかけて流行します。インフルエンザワクチンは、インフルエンザウイルスに感染した場合に発症を一定程度抑える効果や重症化を予防する効果が認められています。ワクチン接種後抗体ができて予防効果が発現するには、およそ2週間かかると言われています。かかりつけ医等、医療機関に相談のうえ、予防対策の1つとして予防接種をご検討ください。

●予防方法

～かかるないために～

*外出した後などにはこまめに手洗いしましょう。

*外出時はなるべく人ごみを避けましょう。

*十分な栄養と休養をとりましょう。

～うつさないために～

*咳やくしゃみなどが出るときはできるだけマスクをするなど「咳エチケット」を守りましょう。

*インフルエンザが疑われるときには、登校を控えるなど、外出はできるだけ控えましょう。

●学校感染症

インフルエンザは学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「発症した後5日を経過し、かつ、解熱した後2日（幼児にあっては、3日）を経過するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

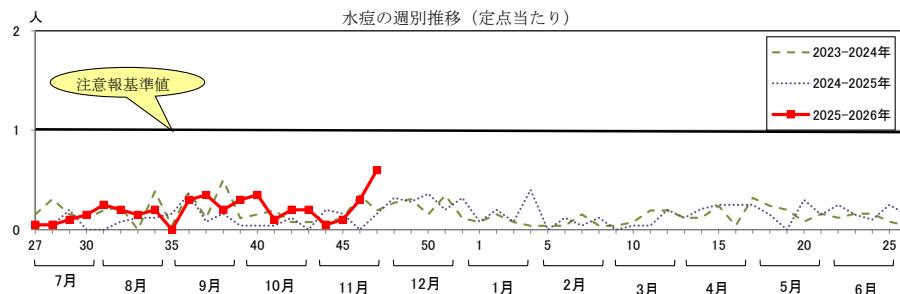
●厚生労働省 「インフルエンザ総合ページ」

http://www.mhlw.go.jp/stf/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekka-kansenshou/influenza/index.html

水痘（みずぼうそう）

高知県の定点当たりの報告数は、3週連続で増加しており、須崎では警報値を超えていいます。

年齢別では 75%（12人中9人）が5歳以下となっています。



水痘は、水痘帯状疱疹ウイルスによる感染症で、一般には「みずぼうそう」と呼ばれています。

感染力は強く、患者の咳やくしゃみなどのしぶきに含まれるウイルスを吸い込むことによる空気感染や飛沫感染、水疱や粘膜の排出物に接触することによる接触感染により感染します。

潜伏期間は2週間程度（10日～21日）と長く、主症状は発疹、発熱、倦怠感です。発疹は紅斑（表面が赤くなること）から始まり水疱、膿疱を経て痂皮化（かさぶたになる）して治癒するとされています。またウイルスが治癒後、体内に潜伏しており、何年も経て「帯状疱疹」として再発することもあります。

●予防方法

予防にはワクチン接種が有効です。2014年10月1日から水痘ワクチンが定期接種化されています。

<対象>

生後12か月から生後36か月に至るまでの間にある方（1歳の誕生日の前日から3歳の誕生日の前日までの方）が対象です。

<スケジュール>

2回の接種を行うこととなっており、1回目の接種は標準的には生後12か月から生後15か月までの間に行います。2回目の接種は、1回目の接種から3か月以上経過してから行いますが、標準的には1回目接種後6か月から12か月まで経過した時期に行うこととなっています。

水痘ワクチンの1回の接種により水痘の重症化をほぼ100%予防でき、2回の接種により軽症も含めてその発症を予防できると言われています。

●学校感染症

水痘（みずぼうそう）は学校保健安全法（同法施行規則第19条）では、出席停止期間の基準が「すべての発疹が痂皮化するまで」と規定される学校感染症（第2種）です。ただし、この出席停止期間は病状により学校医その他の医師において感染のおそれがないと認めたときは、この限りでないと規定されています。

麻しん（はしか）

第46週、高知市保健所管内の医療機関から、平成20年以来、17年ぶりとなる麻しんの報告が1件ありました。

麻しんは、非常に感染力が強く、免疫を持っていない場合はほぼ100%感染すると言われています。

発熱や発疹などの「麻しん」が疑われる症状（発症時は軽い発熱のみの場合があります）がでた場合は、必ず受診前に医療機関に連絡、相談のうえ、受診時の注意点を確認し、受診するようお願いします。

●症状

- ・感染すると約10～12日後に発熱や咳、鼻水といった風邪のような症状が現れ、2～3日熱が続いた後、39℃以上の高熱と発疹が出現します。
- ・周囲への感染可能期間は、発症日の1日前から解熱後3日間を経過するまでと言われており、発症前から感染する可能性があります。

●予防方法

予防接種をうけ、あらかじめ免疫をつけておくことが最も効果的です。

※ただし、妊婦の方は接種することができません。

<予防接種法に基づく定期予防接種の対象者>

第1期：生後12月から生後24月に至るまでの間にある者

第2期：5歳以上7歳未満で小学校就学前の1年間

※高知県は、全国に比べ第1期、第2期とも接種率が低い状況にあります。定期接種の対象者は、積極的な接種をお願いします。

●参考

*麻しん（はしか）患者の発生に係る情報提供（高知県健康政策部健康対策課）

https://www.pref.kochi.lg.jp/doc/2025111500025/file_contents/file_20251115616151_1.pdf

*麻しん（厚生労働省）

https://www.mhlw.go.jp/seisakunitsuite/bunya/kenkou_iryou/kenkou/kekkaku-kansenshou/measles/index.html

★全数把握感染症

類型	疾病名	件数	累計	内 容	保健所
2類	結 核	1	49	90歳代 女性	安 芸
		1		70歳代 男性	
3類	腸管出血性大腸菌感染症	1	8	20歳代 男性	高知市
		1		60歳代 女性	
5類	侵襲性肺炎球菌感染症 百日咳	1	1,309	10~14歳 男性	
		1		10~14歳 女性	
		1		70歳代 男性	
		1		30歳代 女性	須 崎
		1		10~14歳 男性	
		1			
		1			

★病原体検出情報

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
47	不明発疹症	40℃, 発疹	4	女	須崎	human parvovirus B19
						Human herpes virus 6
47	ヘルパンギーナ	40℃, 口内炎	1	女	須崎	Herpes simplex virus 1
47	伝染性紅斑	発疹	4	男	須崎	human parvovirus B19
受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
47	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃, 下痢	3	男	須崎	Adenovirus NT
						Echovirus 9
						Influenza virus A H3 NT
						Parainfluenza virus 4
47	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	咳嗽, 上気道炎	8か月	男	幡多	Rhinovirus

前週以前の受付

受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	ヘルペス疑い	39℃, 口内炎, 齒肉炎	1	男	須崎	Rhinovirus
46	伝染性紅斑	発疹	6	男	高知市	Rhinovirus
46	一	38℃, 上気道炎	1か月	女	高知市	Rhinovirus
受付週	臨床診断名	臨床症状	年齢	性別	保健所	ウイルス、細菌の検出状況
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃	6	男	幡多	Rhinovirus
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ様疾患）	38℃, 咳嗽, 上気道炎	10か月	女	幡多	Rhinovirus
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	39℃, 咳嗽	13	男	須崎	Rhinovirus
46	急性呼吸器感染症（インフルエンザ）	40℃	7	女	須崎	Adenovirus 2

★定点医療機関からのホット情報

保健所	医療機関	情 報
中央東	いちはら内科小児科	マイコプラズマ 1 例 (12 歳女)
	早明浦病院小児科	溶連菌感染症 2 例 (6 歳女、8 歳男) インフルエンザ A 型 1 例 (8 歳女) COVID-19 1 例 (11 歳女)
	JA 高知病院小児科	手足口病 1 例 伝染性紅斑 1 例 流行性耳下腺炎 1 例 インフルエンザ A 型 35 例、B 型 5 例 第 46 週 マイコプラズマ (Lamp 法) 1 例
	嶺北中央病院内科	インフルエンザ A 型 4 例
高知市	けら小児科・アレルギー科	マイコプラズマ感染症 4 例 (4 歳、5 歳、16 歳、30 歳代) COVID-19 3 例 インフルエンザ A 型 68 例、B 型 10 例 カンピロバクター腸炎 1 例 (10 歳)
	近森病院	インフルエンザ A 型 3 例、B 型 2 例 臨床診断 1 例
	はまだ小児科	インフルエンザ A 型 20 例、B 型 14 例
	福井小児科・内科・循環器科	溶連菌感染症+COVID-19 同時感染 1 例 (7 歳男) 溶連菌感染症+インフルエンザ A 同時感染 1 例 (7 歳男) インフルエンザ A 型 11 例、B 型 10 例 溶連菌感染症 11 例 COVID-19 4 例 伝染性紅斑 5 例
高知市	細木病院小児科	マイコプラズマ感染症 2 例 (2 歳男、5 歳女) 溶連菌感染症 5 例 感染性腸炎 3 例 水痘 2 例 インフルエンザ A 型 13 例、B 型 9 例 COVID-19 6 例
中央西	くぼたこどもクリニック	マイコプラズマ 2 例 (11 歳男、39 歳女) COVID-19 1 例 インフルエンザ A 型 9 例、B 型 4 例 溶連菌 2 例
	日高クリニック	アデノウイルス扁桃炎 1 例 (2 歳女)
須崎	くぼかわ病院内科	インフルエンザ A 型 7 例
	須崎くろしお病院内科	インフルエンザ A 型 8 例、B 型 2 例
	もりはた小児科	インフルエンザ A 型 32 例、B 型 7 例
幡多	渭南病院小児科	インフルエンザ B 型 1 例 マイコプラズマ肺炎 1 例 (8 歳男) マイコプラズマ気管支炎 1 例 (0 歳女) マイコプラズマ感染症 3 例 (3 歳男、10 歳女、13 歳女)
	こいけクリニック	マイコプラズマ肺炎 4 例 (6 歳男、9 歳男、42 歳男、46 歳女)

発行：高知県感染症情報センター（高知県衛生環境研究所）

〒780-0850 高知市丸ノ内2-4-1 高知県保健衛生総合庁舎2階

TEL : 088-821-4961 FAX : 088-821-4696

※この情報に記載のデータは 2025 年 11 月 25 日現在の情報により作成しています。

★高知県感染症情報

疾病別・地域別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関）

定点名 (定点数)	保健所 疾病名等	第47週　令和7年11月17日(月)～令和7年11月23日(日)						高知県衛生環境研究所				
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(46週)	高知県(47週末累計) R6/12/30～R7/11/23	
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	69	321	896	222	163	216	1,887 (49.66)	1,689 (44.45)	364,396 (94.77)	49,288 (1297.05)	6,999,387 (1824.66)
	インフルエンザ	16	120	207	48	59	52	502 (13.21)	269 (7.08)	145,526 (37.73)	9,181 (241.61)	977,359 (235.45)
	新型コロナウイルス症	5	27	30	12	15	13	102 (2.68)	129 (3.39)	7,372 (1.91)	8,596 (226.21)	744,770 (179.42)
小児科 (20)	咽頭結膜熱							()	8 (0.40)	666 (0.28)	230 (11.50)	42,842 (16.69)
	A群溶血性レンサ球菌炎		3	26	3		5	37 (1.85)	36 (1.80)	5,771 (2.46)	1,902 (95.10)	248,479 (96.80)
	感染性胃腸炎		1	24	2	3	9	39 (1.95)	50 (2.50)	9,346 (3.98)	3,373 (168.65)	715,579 (278.76)
	水痘	1	1	3		5	2	12 (0.60)	6 (0.30)	690 (0.29)	170 (8.50)	36,807 (14.34)
	手足口病		1	2				3 (0.15)	()	299 (0.13)	388 (19.40)	28,090 (10.94)
	伝染性紅斑		1	9	3	1	1	15 (0.75)	20 (1.00)	1,514 (0.65)	818 (40.90)	149,583 (58.27)
	突発性発疹			2	1	1		4 (0.20)	3 (0.15)	514 (0.22)	240 (12.00)	32,014 (12.47)
	ヘルパンギーナ							()	1 (0.05)	173 (0.07)	796 (39.80)	49,198 (19.17)
	流行性耳下腺炎			1				1 (0.05)	()	91 (0.04)	34 (1.70)	5,910 (2.30)
	RSウイルス感染症			4			1	5 (0.25)	15 (0.75)	1,809 (0.77)	1,015 (50.75)	101,611 (39.58)
眼科 (3)	急性出血性結膜炎							()	()	7 (0.01)	()	994 (1.44)
	流行性角結膜炎			2				2 (0.67)	()	499 (0.72)	33 (11.00)	27,329 (39.49)
基幹 (8)	細菌性結膜炎							()	()	5 (0.01)	3 (0.38)	396 (0.83)
	無菌性結膜炎							()	()	13 (0.03)	7 (0.88)	905 (1.89)
	マイコプラズマ肺炎			4			2	6 (0.75)	6 (0.75)	710 (1.48)	296 (37.00)	16,814 (35.03)
	クラミジア肺炎 (オウム病は肺く)							()	()	6 (0.01)	()	122 (0.25)
	感染性胃腸炎 (RSウイルスに限る)							()	()	4 (0.01)	23 (2.88)	1,768 (3.68)
計(ARIを除く)		22	155	313	69	84	85	728 (23.11)		175,015	27,105 (916.12)	3,180,570
前週(ARIを除く)		18	97	275	53	51	49		543 (18.17)			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合はあります

注 () は定点当たり人数

高知県感染症情報（49定点医療機関）定点当たり人数

定点名 (定点数)	保健所 疾病名等	第47週						高知県(47週末累計) R6/12/30～R7/11/23			全国(46週末累計) R6/12/30～R7/11/16	
		安芸	中央東	高知市	中央西	須崎	幡多	計	前週	全国(46週)	高知県(47週末累計) R6/12/30～R7/11/23	全国(46週末累計) R6/12/30～R7/11/16
急性呼吸器 感染症 (38)	急性呼吸器感染症(ARI)*	23.00	45.86	68.92	55.50	40.75	30.86	49.66	44.45	94.77	1297.05	1824.66
	インフルエンザ	5.33	17.14	15.92	12.00	14.75	7.43	13.21	7.08	37.73	241.61	235.45
	新型コロナウイルス症	1.67	3.86	2.31	3.00	3.75	1.86	2.68	3.39	1.91	226.21	179.42
小児科 (20)	咽頭結膜熱								0.40	0.28	11.50	16.69
	A群溶血性レンサ球菌炎		0.75	3.25	1.50		1.67	1.85	1.80	2.46	95.10	96.80
	感染性胃腸炎		0.25	3.00	1.00	1.50	3.00	1.95	2.50	3.98	168.65	278.76
	水痘	1.00	0.25	0.38		2.50	0.67	0.60	0.30	0.29	8.50	14.34
	手足口病		0.25	0.25				0.15		0.13	19.40	10.94
	伝染性紅斑		0.25	1.13	1.50	0.50	0.33	0.75	1.00	0.65	40.90	58.27
	突発性発疹			0.25	0.50	0.50		0.20	0.15	0.22	12.00	12.47
	ヘルパンギーナ								0.05	0.04	39.80	19.17
	流行性耳下腺炎		0.25					0.05		0.04	1.70	2.30
	RSウイルス感染症			0.50			0.33	0.25	0.75	0.77	50.75	39.58
眼科 (3)	急性出血性結膜炎									0.01		1.44
	流行性角結膜炎			2.00				0.67		0.72	11.00	39.49
基幹 (8)	細菌性結膜炎									0.01	0.38	0.83
	無菌性結膜炎									0.03	0.88	1.89
	マイコプラズマ肺炎			0.80			2.00	0.75	0.75	1.48	37.00	35.03
	クラミジア肺炎 (オウム病は肺く)									0.01		0.25
	感染性胃腸炎 (RSウイルスに限る)									0.01	2.88	3.68
計(ARIを除く)		8.00	23.00	29.79	19.50	23.50	17.29	23.11			916.12	
前週(ARIを除く)		8.00	15.25	26.13	14.75	14.00	12.33		18.17			

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの集計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合はあります

疾病別・年齢別報告数

高知県感染症情報（49定点医療機関） 疾病別・年齢別報告数

2025年

47W

定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以 上									
急性呼吸器感染症 (38)	急性呼吸器感染症 (ARI)*	1,887	148	508	415	325	94	53	60	48	49	47	66	74									
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以 上	
急性呼吸器感染症 (38)	インフルエンザ	502	4	2	13	20	20	14	18	26	22	28	38	156	30	21	22	21	18	10	10	9	
	新型コロナウイルス感染症	102			3	3	2	1		3		1			7	4	4	13	11	6	9	17	18
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14 歳	15~19 歳	20歳以 上							
小児科 (20)	咽頭結膜熱																						
	A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	37			1			4	4	3	6	5	4	2	4	1	3						
	感染性胃腸炎	39	1		3	6	5	2	2	5	2	2	4	6		1							
	水痘	12			1		5	2	1	1	1			1									
	手足口病	3			1					1		1											
	伝染性紅斑	15	1				2	5	1			1	1	3		1							
	突発性発疹	4		2	1	1																	
	ヘルパンギーナ												1										
	流行性耳下腺炎	1																					
	RSウイルス感染症	5		1	1	1	1	1															
定点 (定点数)	疾病名等	合計	~6ヶ月	~12ヶ月	1歳	2歳	3歳	4歳	5歳	6歳	7歳	8歳	9歳	10~14 歳	15~19 歳	20~29 歳	30~39 歳	40~49 歳	50~59 歳	60~69 歳	70~79 歳	80歳以 上	
眼科(3)	急性出血性結膜炎																						
	流行性角結膜炎	2			1													1					
定点 (定点数)	疾病名等	合計	0歳	1~4歳	5~9歳	10~14 歳	15~19 歳	20~24 歳	25~29 歳	30~34歳	35~39 歳	40~44 歳	45~49 歳	50~54 歳	55~59 歳	60~64 歳	65~69 歳	70歳以 上					
基幹(8)	細菌性髄膜炎																						
	無菌性髄膜炎																						
	マイコプラズマ肺炎	6		1	1		2			1										1			
	クラミジア肺炎 (オウム病は除く)																						
	感染性胃腸炎 (ロタウイルスに限る)																						

*ARIの定義：医師が感染症を疑う外来症例で、かつ発症から10日以内の急性症状（咳嗽、咽頭痛、呼吸困難、鼻汁、鼻閉のいずれか1つ以上）を呈している症例

*ARIの統計法：上記症状の患者を集計するため、インフルエンザやCOVID-19、咽頭結膜熱等の患者と重複している場合があります

**疾病別年次報告数推移 2025年第47週
(急性呼吸器感染症定点・小児科定点・眼科定点)**

